令和9年度
橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

九州大学拠点

九州大学　生命科学革新実現化拠点　橋渡研究推進部門
九州大学病院　ARO次世代医療センター

KYUSHU UNIVERSITY

本日の内容

I.　令和9年度橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

II. 採択後の支援内容 、ステップアップ

橋渡し研究プログラムの概要

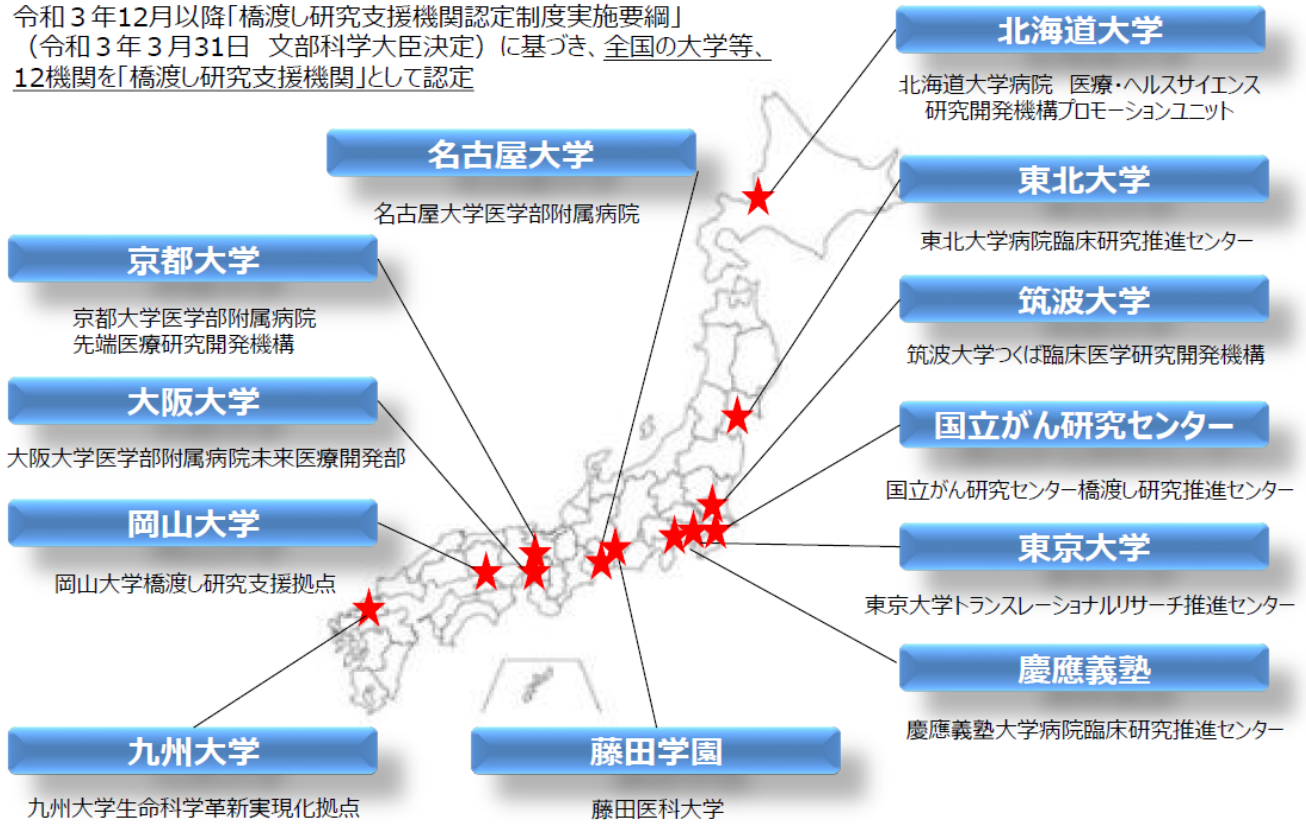


*橋渡し研究プログラムでは橋渡し研究支援機関を活用し、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しするために研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指しています。

出典：https://www.amed.go.jp/program/list/16/01/012.html

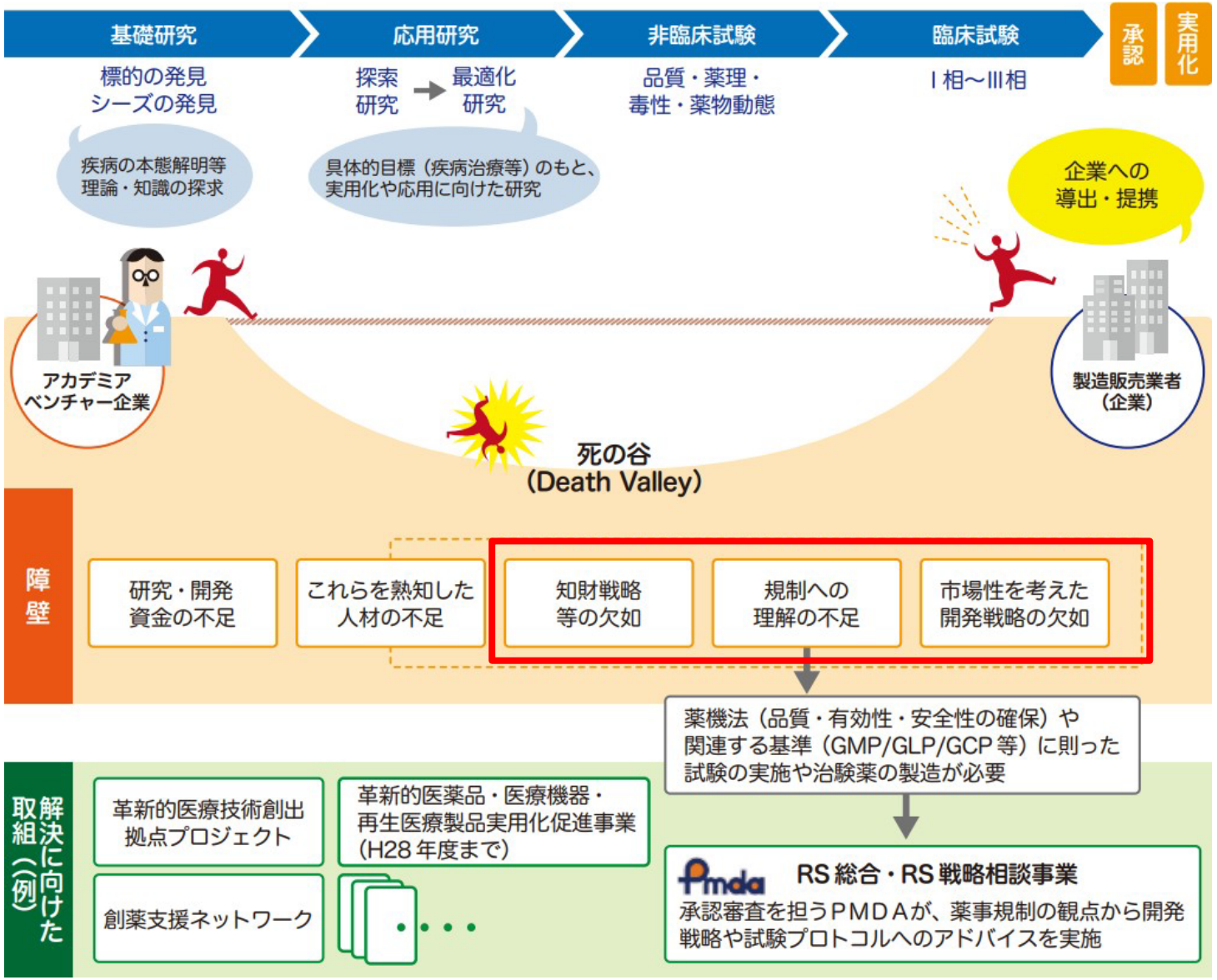
橋渡し研究支援機関（R7.4.7現在）

令和３年12月以降「橋渡し研究支援機関認定制度実施要綱」（令和３年３月31日　文部科学大臣決定）に基づき、全国の大学等、12機関を「橋渡し研究支援機関」として認定



文科省認定　全国12拠点

橋渡し研究支援機関の支援



医療に関わる研究を支援して、実用化に結びつける

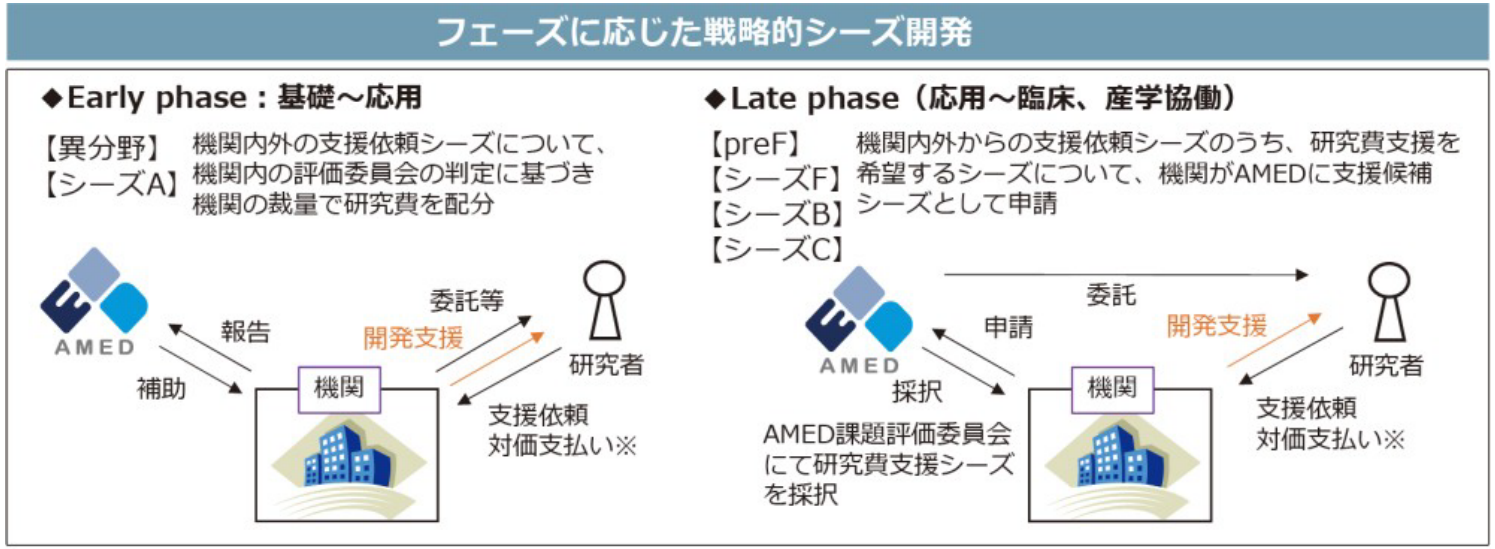
基礎	製剤開発	非臨床試験	臨床試験		
特許戦略策定・申請	薬理試験の計画	治験薬製造業者/治験薬提供者の選定・契約	試験デザイン策定・実施計画書作成	その他文書作成	被験者登録
企業連携・共同研究	薬物動態試験の計画	企業との契約	試験物（治験薬）の調達・管理	薬事・規制当局（PMDA・厚労省）対応	モニタリング
	毒性試験の計画	分子細胞調製センター（MCPC）の利用	プロジェクトマネジメント	CROとの契約・業務管理	安全性情報管理
	医療機器関連試験	検査部安全性管理ユニット（SIU）の利用	治験調整委員会設置・運営	CRC	監査
			効果安全性評価委員会設置・運営	実施施設選定・交渉	データマネジメント
			ライティング（治験薬概要書/総括報告書）	割付	統計解析

全般：薬事戦略策定（PMDA RS戦略相談）

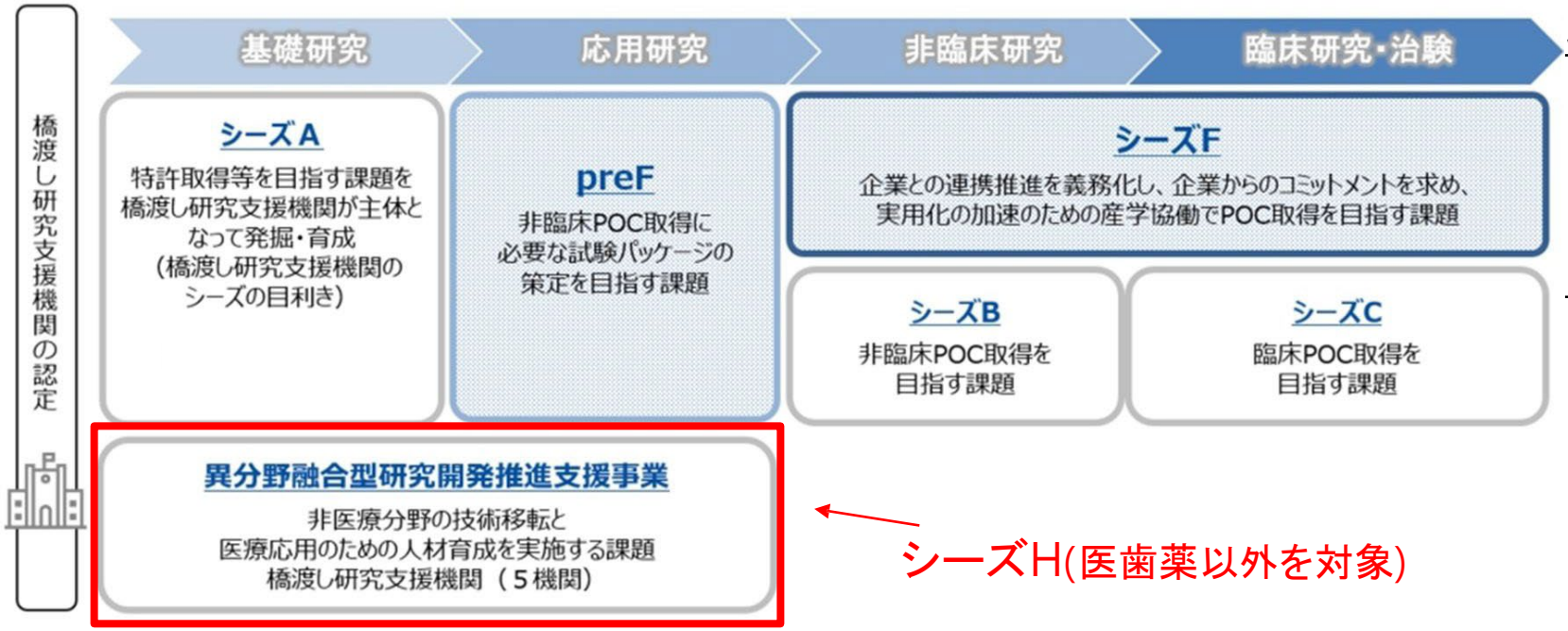
橋渡し研究支援機関 → 臨床研究中核病院

- 薬事支援
- 研究者教育
- 知財コンサルト
- 企業導出
- ベンチャー支援
- 行政機関連携
- 国際連携

橋渡し研究プログラムの概要



※橋渡し研究支援機関は医療実用化のための開発支援を行い、研究者は受給した研究費から支援に対する対価を支払う仕組みになっています。



シーズH(医歯薬以外を対象)

基礎研究

- シーズA　2年間
- シーズH（医歯薬以外）　1年間
  開発コンセプト、原理・作用機序確認
  特許出願

応用研究

- PreF　2年間
  仕様決定、化合物最適化、品質規格
  投与経路、用法用量、投与期間

非臨床研究

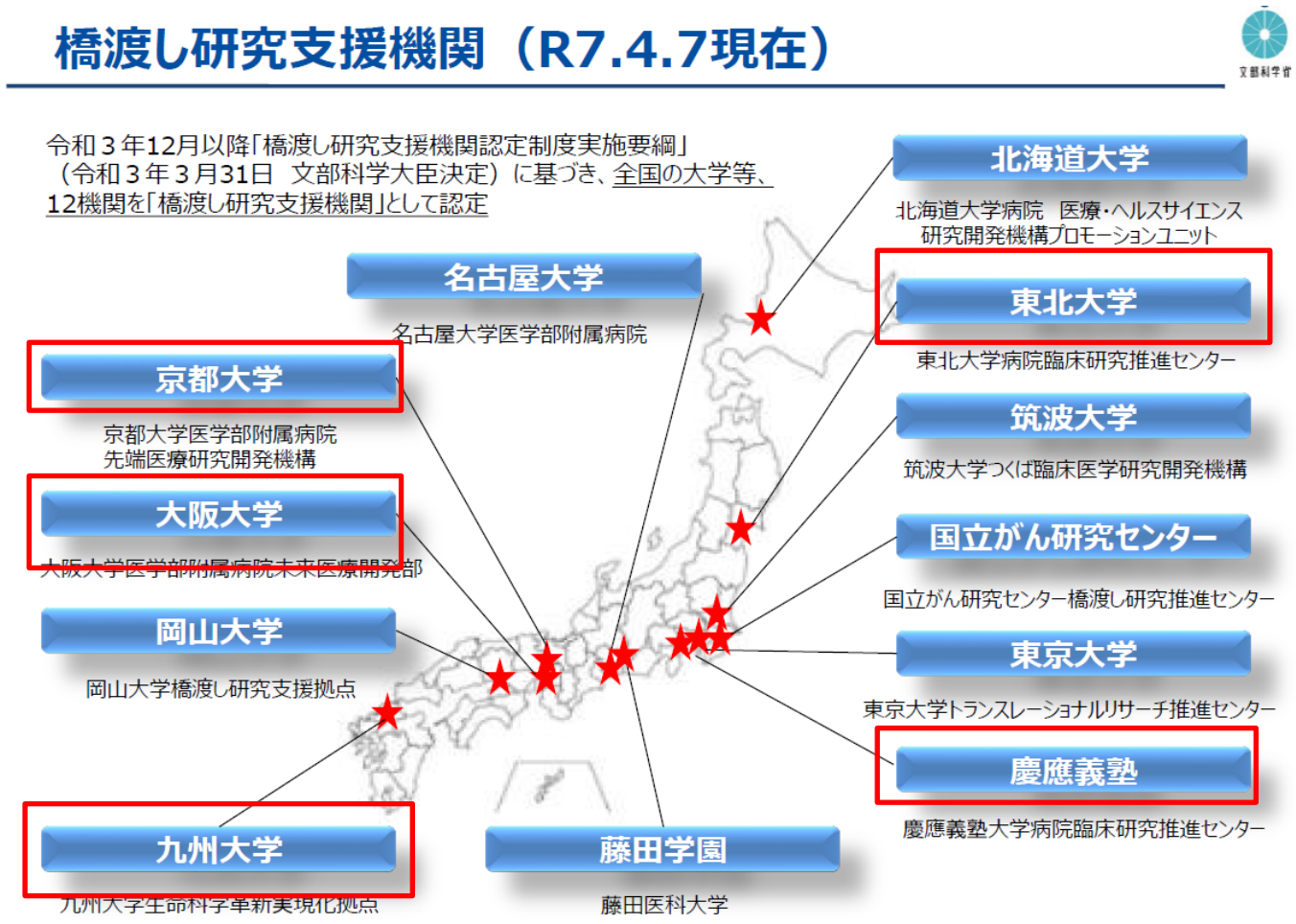
- シーズB　3年間
  毒性試験（医薬品・医療機器）
  性能試験（体外診断用医薬品）

臨床研究・治験

- シーズC　4年間
  治験実施体制整備、治験実施

POC = Proof of Concept：概念実証 有効性+安全性の立証

第３期異分野事業：5拠点



文科省認定　全国12拠点

令和9年度公募：応募枠、研究開発費及び支援期間

公募枠	研究費（年間） ※間接経費を含む	支援期間	採択 予定数
一般※	上限200万円	令和9年4月1日 ～ 令和10年3月31日	7課題 程度
共創※※	上限500万円	令和9年4月1日 ～ 令和10年3月31日	0~2課 題程度

※一般枠の選考で不採択となった課題の中で研究データの補完等により進捗が期待されるような課題を開拓課題として選ぶ場合があります（最大3課題）。年間上限100万円程度を予定。

※※原則、関連性の薄い異分野領域の研究者同士が共同で研究提案をしていただきます。詳細は「３．共創枠について」を参照ください。

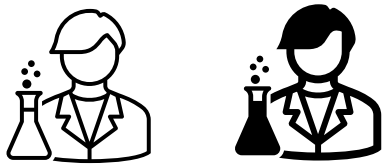
・同一課題での一般枠と共創枠への重複応募は不可といたします。

・採択等件数によって、実際の研究開発費は変更の可能性があります。

・特許出願に係る費用は所属大学の予算、または配分研究費（間接経費）から支出していただくことになります。

共創枠

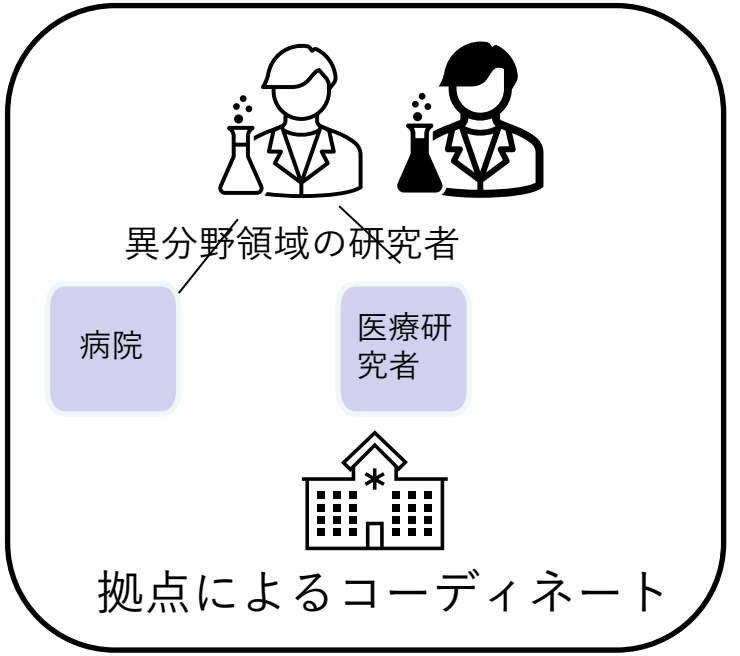
異分野 X異分野 で応募



異分野領域の研究者（申請者）　異分野領域の研究者

革新性（ポテンシャル）を中心に評価

採択後



関連性の薄い異分野領域の研究者同士が共同で研究提案

・詳細は、募集要項「３．共創枠について」を参照

採択後：医療現場視察やステークホルダーとの議論を通して取り組む内容を適宜修正

（最大500万円/年間）

令和9年度公募内容

一般枠：異分野領域（医歯薬系以外）の技術を医療応用に向けて研究開発を進めていただきます。

共創枠：研究開発代表者（異分野領域研究者）の持つ技術と別の異分野領域の研究者の技術を融合させ、革新的な医療シーズの創出を試みます。

【対象】

下記の条件をすべて満たす課題

・大学等アカデミア発の研究成果によるシーズであること。

・研究開発代表者が原則、医学・歯学・薬学系以外の所属であること。

公募対象に該当するかご不明な方は
「個別相談会」にお申し込みください！

※「医工学」等の融合組織の所属者も応募可能であるが、代表者が研究開発だけで なく医療にも従事している場合は応募前に拠点に確認のこと。

※研究分担者および協力者は医学・歯学・薬学系所属であっても差し支えない。

※民間企業等のアカデミア研究機関以外に所属の研究者が研究代表者となる場合は、応募前に拠点に確認のこと。

・知財化を目指す開発早期のシーズであること。

【求められる成果】

・シーズA等へのステージアップや実用化に関するAMED他事業への応募
・導出/共同研究/実用化に向けた企業との議論の開始
・関連特許出願（支援期間後を含む）

【公募（提案書受付け）期間】

・令和8年11月2日（月）～令和8年12月7日（月）

評価方法

評価項目	評価ポイント
事業該当性	事業趣旨・目的(医歯薬系以外の技術/知識を活用し医療イノベーションの推進)に合致しているか
ニーズの有無	ニーズ（医療ニーズ、社会ニーズ）はあるか
知財化の可能性	新規性が見込めるか
実用化可能性	既存技術・治療に対する優位性は明確か
革新性	当該研究・開発が行われることにより既存医療技術を変革させうるか
計画の妥当性・実施体制	・研究開発目的に対する計画が妥当であるか ・実施体制は適切か（医療研究者との連携は採択後でも良い）
実施可能性	開発実現性の根拠、予備的データはあるか

本日の内容

I.　令和8年度橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

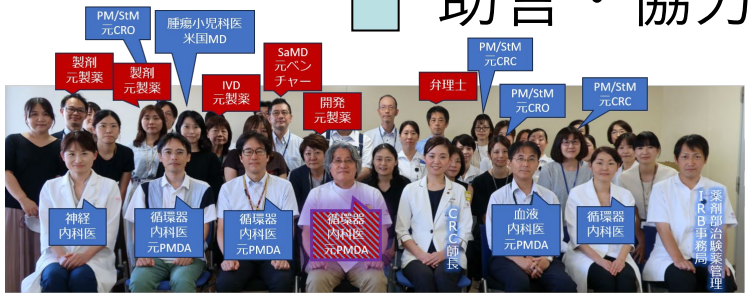
II. 採択後の支援内容 、ステップアップ

採択後の支援



拠点外ネットワーク
の活用

助言・協力



拠点内ネットワ
ークの活用

採択後の支援

開発支援

採択シーズ → 継続的な支援 → 次相へステップアップ

- 開発戦略
- 薬事戦略
- 知財戦略
- 企業連携

開発初期からの伴走開発
拠点PMとの開発会議を定期的に実施

医療現場観察

飯塚メディコラボ



医療現場視察の場を提供し異分野研究者の医療ニーズ理解を深める

企業連携支援

拠点独自の医療技術共創グラント等による共同研究実現へ向けた支援
企業からの評価コメントを研究者にフィードバックし、開発戦略に活用

医療技術共創グラント事業



- 20社以上の製薬・医療機器メーカー、VCが参加
- 400以上のシーズ紹介

研究者教育



異分野融合型研究に参考となるセミナー



医薬品開発に必要な行程を網羅するレクチャーコース



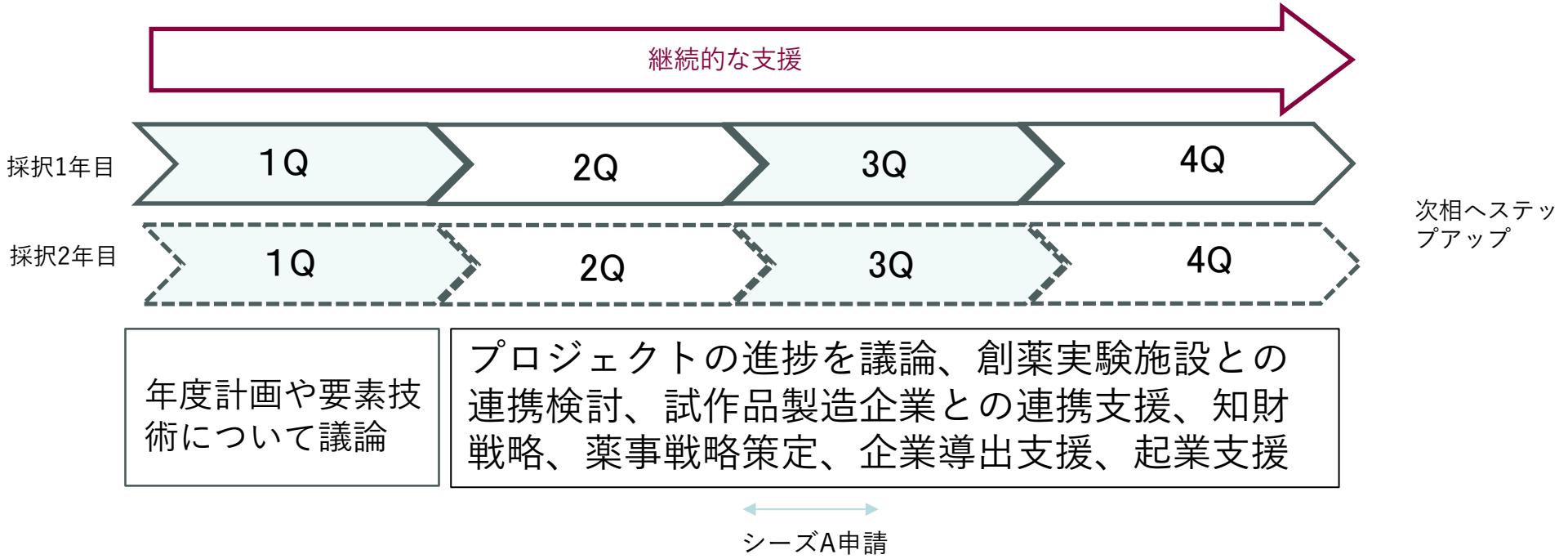
医療機器保険に関するレクチャーシリーズ



企業とアカデミアシーズのマッチングを促進

開発支援

開発初期からの伴走開発：拠点PMとの開発会議を定期的に実施



医療現場観察

コラボから生まれる、明日の医療イノベーション。

iizuka medicolabo

iizuka medicolabo®＝医療現場 観察プログラム

よりよい医療機器の開発をサポートし、医療の質を向上することを目的としています。“Patient First”を合い言葉に、医療機器・材料・システム・アプリの開発およびサービスの創出を目指す方々に医療現場を観察する機会を提供するプログラムです。
医療現場の実際の観察を通じて、医療についての理解を深めていただくとともに、事務局のイノベーション推進本部が現場ニーズの的確な把握をサポートします。



過去実績（シーズH採択者による参加）

- R5年度：3件
- R6年度：1件
- R7年度：3件

拠点の特徴：評価軸

異分野融合により革新的医療シーズを共創し実用化を目指す

・異分野領域の研究者のユニークなアプローチ/技術を活用した提案を積極的に発掘、選定

・これまでに医療応用の経験が少ない異分野領域の研究者を積極的に支援



発掘：共創枠（500万円/年、2件程度）を設定

異分野領域の研究者の技術シーズを融合させた提案を公募

選定

- 拠点内一次審査では総合評価点数とは別途、異分野度を評価。二次審査課題選考の際考慮
- 拠点の支援により進捗が期待されるような課題を開拓課題（100万円/年、3件）として選考

育成：異分野融合研究から実用化へ

実用化に向けた様々な支援を実施

拠点の特徴：支援とステップアップ

・医歯薬系以外の様々な学部の研究者を支援



九州大学 大学院芸術工学研究院 大学院芸術工学府 芸術工学部

九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所



・英語での申請を受け付け、英語での支援が可能

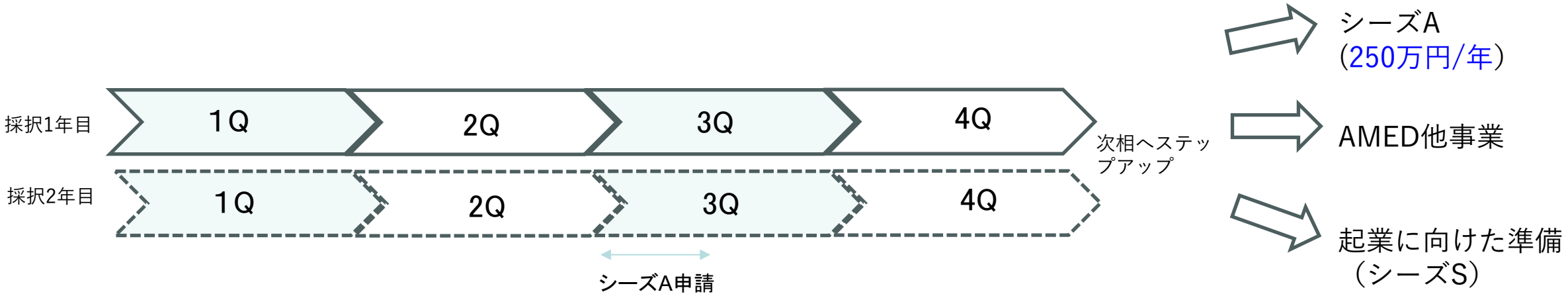
・異分野事業とスタートアップ事業の両方に採択

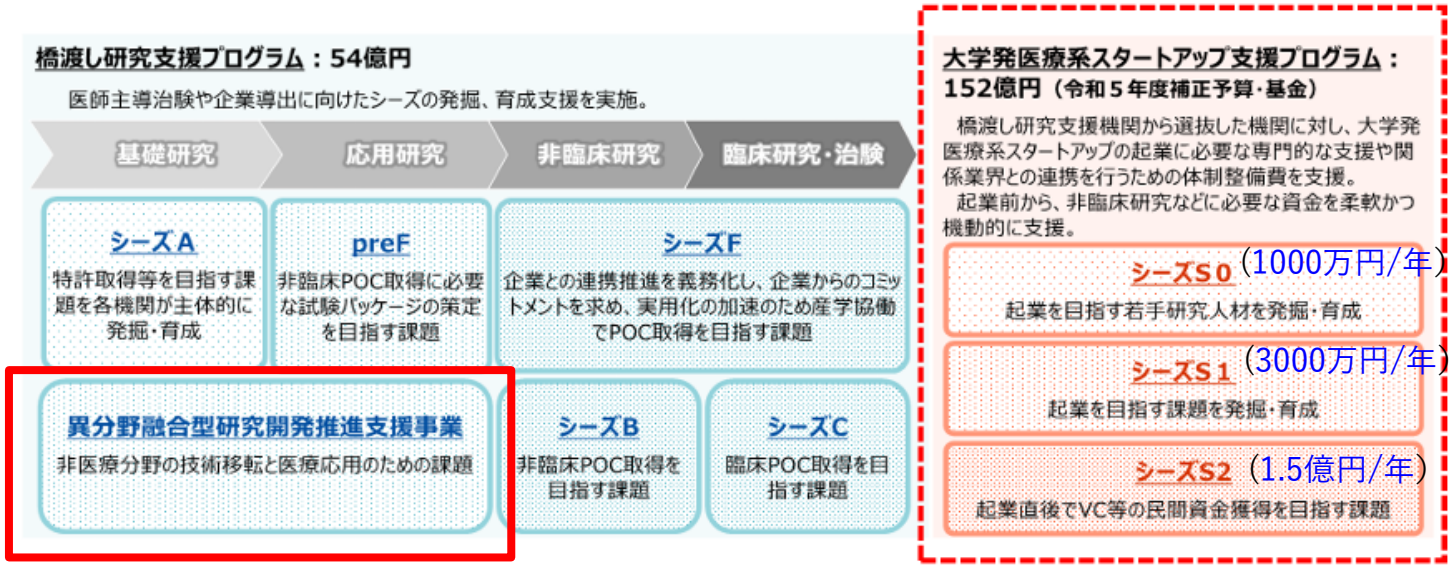
異分野領域の研究者のシーズを切れ目なく実用化に進めることが可能



異分野事業（青）・SU支援拠点（赤）の両方に採択

シーズH終了後のステップアップ





シーズH：異分野領域の技術シーズの医療分野への実用化に向けた入口

第2期事業（令和4年度～6年度）支援実績

シーズの状況	R4年度採択課題 （9シーズ採択）	R5年度採択課題 （11シーズ採択）	R6年度採択課題 （12シーズ採択）
次相（シーズA）への ステージアップ ※関連課題のステージアップを含む	6	6	4
AMED他事業*へ採択 （プラットフォーム技術）			1
関連課題がシーズS0採択		1	
関連特許出願済	2	4	3

*創薬基盤推進研究事業

申請書類、問合せ先

公募要領・申請書類のダウンロード先

https://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/hashiwatashi/



【個別相談】

個別相談をご希望の方は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

九州大学　生命科学革新実現化拠点
橋渡研究推進部門（ARO）
E-Mail: nw-info@med.kyushu-u.ac.jp
Tel: 092-642-4802